

平成29年5月29日

電力広域的運営推進機関

再生可能エネルギー発電設備の出力抑制に関する検証結果の 公表について

九州電力株式会社が平成29年4月に実施した、種子島、壱岐、及び徳之島における再生可能エネルギー発電設備の出力抑制について、当機関は、業務規程第180条第2項に基づき、出力抑制に関する給電指令の妥当性を検証したので、下記のとおり、その結果を公表いたします。

記

1. 抑制実施日とエリア

4月 1日 (土) 種子島	4月 12日 (水) 壱岐
2日 (日) 種子島	14日 (金) 壱岐
3日 (月) 種子島	19日 (水) 壱岐
4日 (火) 種子島	22日 (土) 壱岐
12日 (水) 種子島	23日 (日) 壱岐
13日 (木) 種子島	24日 (月) 壱岐
14日 (金) 種子島	28日 (金) 壱岐
19日 (水) 種子島	29日 (土) 壱岐
23日 (日) 種子島	30日 (日) 壱岐
28日 (金) 種子島	29日 (土) 徳之島
29日 (土) 種子島	30日 (日) 徳之島
30日 (日) 種子島	

2. 検証内容

- ①抑制指令を行った時点で予測した離島の需給状況
- ②下げ調整力確保の具体的内容
- ③再エネの出力抑制を行う必要性

3. 検証結果

検証内容の①～③それぞれの項目について検証した結果、下げ調整力不足が見込まれたため行われた、今回の出力抑制の指令は、適切であると判断する。

4. 添付資料

再生可能エネルギー発電設備の出力抑制の検証結果
～平成29年4月 九州電力～

以上